オルタナティブ投資を活用した ハイブリッド式商品とは

Contents

- 01 オルタナティブ投資とは
- 02 なぜSAMURAI FUNDでオルタナティブ投資ができるのか?
- 03 なぜハイブリッド式なのか?
- 04 利回りシミュレーション
- 05 個人投資家でも世界のオルタナティブ投資へアクセスできる時代に



オルタナティブ投資とは

オルタナティブ投資とは

オルタナティブ投資とは、株式や債券などといった伝統的資産と呼ばれる金融商品以外の新しい 投資対象や投資手法のことです。代表的なオルタナティブ投資は不動産、未公開株、ヘッジファ ンド、ベンチャー・キャピタルが挙げられます。

| | 伝統的 | 非伝統的(オルタナティブ投資) |
|--------|-----------------|-----------------------|
| 投資形態 | 投資信託など | ヘッジファンド、プライベートエクイティ、 |
| | | 不動産ファンドなど |
| 投資対象資産 | 株式、債券 | 未公開株、不動産、デリバティブ |
| 投資手法 | ロングでキャピタルゲインを狙う | ロング・ショートどちらでもキャピタルゲイン |
| | | を狙う |

これらのオルタナティブ投資のなかでもヘッジファンドや不動産ファンド、プライベートエクイティファンドなどのような商品は、売買できないロックアップ期間が長期間のものも多く、比較的に大きな資金を必要とする商品が多いのを特徴としていること等、適格機関投資家や大口投資家と比較すると小口投資を主とする個人投資家にはハードルが高い金融商品です。しかしその一方で、オルタナティブ投資の魅力の一つとして、ヘッジファンドを例にするとヘッジファンドでは絶対的に収益を追求する運用がとられます。一般的なパッシブファンドやアクティブファンドでは運用会社が日経平均株価などのベンチマークと比較して相対的にファンドの運用を行います。それに対して、ヘッジファンドのような絶対的収益追求型のファンドはベンチマークに関係なく投資元本に対して収益を上げることを目標としており、運用成果によっては高いリターンを得られる場合もあります。

(上述の「絶対」とは必ずしも収益を得ることが出来るという意味ではございません。 運用成果に 応じて損失となる可能性があります。)

なぜ SAMURAI FUND でオルタナティブ投資ができるのか?

高いリターンを期待できるオルタナティブ投資ですが、個人投資家にとってオルタナティブ投資は以下の点から非常にハードルが高いという課題がありました。

オルタナティブ投資



オルタナティブ投資の課題

- × 最低投資額が高額
- × 長期運用が前提
- × 手軽に情報収集できない



投資が難しい





SAMURAI FUND のソリューション

オルタナティブ投資の課題に着目し、個人投資家の皆様にオンラインで 手軽にオルタナティブ投資へ投資できる「ハイブリッド式ファンド」を構想しました!

オルタナティブ商品取扱会社



一部の富裕層・ 機関投資家向けに オルタナティブ商品を販売

& SAMURAI FUND



オルタナティブ商品取扱会社 から営業者が厳選した オルタナティブ商品を購入

> 個人投資家向けに 当社が商品組成

※商品は近日公開予定

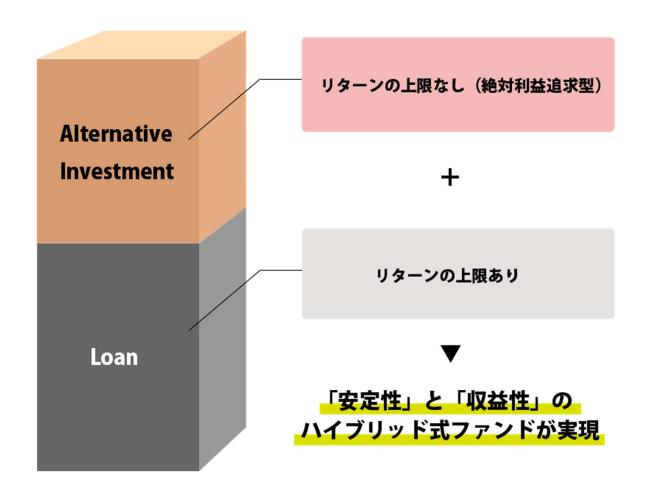
個人投資家



- ☑ 1万円と少額から投資可能
- ☑ 1~3 年の短期運用も可能
- ✓金融のプロが厳選したファンドを安心して購入可能

3なぜハイブリッド式なのか?

「安定性」と「収益性」のバランスを重視



オルタナティブ投資のなかには、ヘッジファンドや不動産といった株や債券のような伝統的投資と比較してもハイリスク・ハイリターンの金融商品もあるため、株式市場が下落している時でも大きな利益を得られる場合がある一方で、運用成績が悪化する等によって大きな損失が生じる可能性もあります。そこで当社の強みである保証や担保が付されている貸付と組み合わせることによって、「収益性」と「安定性」を複合したファンドを実現しました。

04利回りシミュレーション

分散運用による手法を実感

ハイブリッド式のファンドとすることで、貸付による利息収益に合わせてオルタナティブ投資の高い リターンを狙える一方で、オルタナティブ投資の成果によって損失が生じた場合にも、貸付の利 息によって元金の損失を軽減することが実現できます。

このように資産運用において重要な投資対象先が分散されたパッケージファンドに投資することで、手間なく分散運用を行えます。

それでは、ハイブリッド式のファンドに投資することでどのような利回りが期待できるのか、オルタナティブ投資を組み入れた場合でシミュレーションをしてみました。

「ハイブリッド式ファンド」の利回りシミュレーション

| ハイブリッド 式ファンド 利回り | 1.6% | 3.6% | 5.6% | 7.6% | 11.6% |
|--|---|---|---|--|--|
| L _{うち、オルタナ} ティブ投資の 利回り (40%組入) | -5% (オルタナティブ投 資の利回り) ×40% (組入割合) = -2% | 0% (オルタナティブ投資の利回り) ×40% (組入割合) = 0% | 5% (オルタナティブ投資の 利回り) ×40% (組入割合) = 2% | 10% (オルタナティブ投資の 利回り) ×40% (組入割合) = 4% | 20% (オルタナティブ投資の 利回り) ×40% (組入割合) = 8% |
| L _{うち、貸付の} 利息収益 (60%組入) | 6%(固定) ×60%(組入割合)= 3.6% | 6%(固定) ×60%(組入割合)= 3.6% | 6% (固定) ×60% (組入割合) = 3.6% | 6%(固定) ×60%(組入割合)= 3.6% | 6%(固定) ×60%(組入割合) = 3.6% |

※上記シミュレーションは当社が試算した想定値であり、実際の運用成果が当該シミュレーション通りになるとは限りません。また、表に記載の利回りは、想定利回り(諸手数料・税控除前)であり、将来の運用成果を保証するものではありません。運用成果によっては諸手数料・税控除後に損失が生じる可能性がございます。

個人投資家でも世界のオルタナティブ投資へアクセスできる時代に



オルタナティブ投資×貸付のハイブリッドスキームで新しい資産運用を

今回のレポートでは、「オルタナティブ投資に着目したハイブリッド式商品」についてご紹介してきました。貸付型クラウドファンディングと組み合わせることで、リスク分散しながら、オルタナティブ投資の高いリターンを享受することが可能です。

※投資はリスク・手数料をご確認の上、契約締結前交付書面を読み、ご自身の判断によって 行ってください。

※本記事に掲載する情報は、当社及び当社グループに関連する認識や予測、計画等の将来に関する記述が含まれる場合がございます。これらの記述は、作成時点において当社及び当社グループが入手可能な情報やそれらの情報に基づいた当社の判断等を基礎として作成しており、既知又は未知のリスクや不確実性を含んでいます。従いまして、将来の実績、経営成績や財務状態等が、将来に関する記述と大きく異なる結果となる恐れがあることをご承知おきくださいますようお願いいたします。

※本記事に掲載する情報は、当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。さらに、時間の経過や情勢の変化、見通しの変更等により、内容が陳腐化することや不正確になる場合がありますが、当社は情報更新の義務を負うものではありません。